

公表

訪問先施設からの保育所等訪問支援事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年3月23日

淡路こども園

訪問先施設数

6

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	5	1		本児の性格を熟知してくださっているの で取り入れやすい。	今後もそれぞれの立場から、子どもの 成長を支えていけるよう連携を深めて いきたい。
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	5	1			
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	5	1			
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消 または軽減されましたか。	5		1		
5	事業所からの支援に満足していますか。	4	2		保護者の方との昔の連携があるので、安 心する。	今後も連携を大切にしながら、本人理 解に関して協力して取り組んでいき たいと考えています。
その他のご意見					ご意見を踏まえた対応	
<ul style="list-style-type: none"> 学校から伝えたいことを、こども園のせんせいからもお伝えいただき、スムーズに保護者につたわりました。ありがとうございました。 今年度の訪問時、特別支援学級の担任が支援中に、こども園の先生が独自で判断されて児童に声をかけたり、支援の手を出されたりすることがありました。訪問後に、よりよい支援についてアドバイスをいたたいへんありがたいのですが、訪問中は静かに見守ってもらえるとありがたいです。 療育で正しいことが、学校現場で必ずしもできるとは限らない。 やりたいことをさせることは大切だが、基本的なしつけも必要に感じる。 上記2点が正直、違和感を感じるがあります。 					<ul style="list-style-type: none"> 今後も学校教育と療育それぞれの専門性を生かし合いながら、子どもの成長を支えていけるよう連携を深めていきたいと考えています。 訪問時の関わりについては、学校の指導方針や支援の流れを尊重し見守りを基本とします。助言等は訪問後の振り返りの場で丁寧に共有させていただきます。 いただいたご意見を踏まえつつ、本事業では、配慮が必要な子どもたち一人ひとりの特性や発達状況に基づき、個別性の高い視点から学校生活の様子を見させていただいております。療育の立場からは、子どもの背景や発達段階を丁寧に捉え、その子にとって無理のない形で力を育てていくことを大切にしています。 基本的な生活習慣や集団生活におけるルールについては、教育の場と療育の場とで、視点やアプローチに違いが生じることもあると認識しております。その違いを前提に、双方の考えを共有しながら、子どもにとって適切な支援のあり方を共に検討していきたいと考えております。 	